

目標達成計画及び自己評価結果を公表します

介護保険のサービスのうち、認知症対応型共同生活介護については、運営基準により、原則として年1回自己評価及び外部評価（第三者評価）を実施することが義務付けられています。

ここでは、評価結果を踏まえた目標達成計画と自己評価結果について公表します。これらは、事業者の責任で作成されたものです。内容については、各事業者にお問い合わせください。

目標達成計画について

- 各事業者は、自己評価及び外部評価（第三者評価）結果を踏まえて、目標達成計画を作成します。
- サービスの質の改善及び向上に向けて、今後、どのように取り組んでいくのかを具体的に記載します。

公表している自己評価の結果について

- 自己評価は、各事業者が、提供するサービスについて自ら評価・点検し、サービス水準向上に向けた自発的な努力に結びつけるものです。
- 自己評価の項目は、第三者評価の共通評価項目と同じです。外部評価（第三者評価）における訪問調査の前に、自己評価を実施します。
- 公表内容は、自己評価で実施を確認できた標準項目数を記載しています。

※ なお、外部評価（第三者評価）の結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」の第三者評価のページで公表しています。事業所情報の詳細ページからも、[評価情報詳細](#)のボタンをクリックすれば、第三者評価の結果ページにいくことができます。

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391600390
事業所名	優っくりグループホーム豊島南長崎
自己評価実施日	2023年 11月 1日
目標達成計画作成日	2024年 1月 30日

次のページより、目標達成計画及び自己評価結果を掲載しています。

目標達成計画

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391600390
事業所名	優っくりグループホーム豊島南長崎

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6-3-4	事業計画を職員・利用家族に周知出来ていない。自然災害やその他事故へのリスクへの対応	利用者家族・全職員と事業計画の共有を行う。現状のリスクの把握、改善策の検討・周知の徹底。	運営推進会議や家族会等イベントを開催。全体での防災訓練を実施し、リスクを洗い出す。必要物品の購入、家族への協力依頼も同時に行う。	3 か月～半年以内
2	6-1-2	手引書等の整備、事業所業務の標準化を図るための取り組み	手順書やマニュアルの時期を決めての計画的な見直し。職員が自身で手引書やマニュアルを活用して業務を遂行する形を習慣化する。	ミーティング行い、必要で不足していると職員が感じるマニュアル・手順書を作成し、定期的に時期を決めて更新していく。マニュアルはあるが現状上長に口頭で質問して解決する方が多いため時間のロスが生まれているのでそこをマニュアル整備し標準化する。	半年以内
3	4-6-5	地域資源の活用	地域交流行い、地域に根差した事業所を運営する	町内会の役員職員が在籍しているため、町内会や地域のイベントへの参加の予定を立てる。保育園が隣接されており世代間交流のイベントの開催や地域包括センターとも協力し地域の取り組みに参加する。	3 か月～1 年以内

様式2 認知症対応型共同生活介護・サービス項目中心の手法

4	3-3-1	利用者一人一人に必要な情報を具体的に記載する	職員によって介護記録や情報の書き方・伝達の仕方に大きく差があり不適切な表現に繋がりがねない場面が有る。全職員の知識・意識の差を無くしていく	研修の実施、定期的な記録のチェックを管理者、ケアマネジャーで行い必要な場合は個別に面談やフォロー行う。	1 か月から 1 年かけ継続し行っていく。
5	4-5-3	家族等が事業所に対し意見や要望を表せる機会を設けそれらを活かした支援を行っている	運営推進会議や面会、毎月の報告電話を行っておりそのタイミングで伺ってはいるが、家族の職員に直接言いにくい等の部分への配慮が出来ていない。	アンケートボックス設置。家族会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートボックス設置：1 か月以内 ・家族会の開催：1 年以内

注1) 項目番号欄には、関連する評価項目の番号(例：6-4-1)を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること

サービス項目中心の手法用

サービス種別	認知症対応型共同生活介護
事業者番号	1391600390
事業所名	優っくりグループホーム豊島南長崎

※ 自己評価結果は、各評価項目に属する標準項目のうち、実施が確認できた項目数を記載しています。
 ※ 標準項目については、とうきょう福祉ナビゲーションの福祉サービス第三者評価のページに掲載しています。
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/datafile1.htm>

カテゴリ6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ1 サービス情報の提供

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	4	3

サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-2-1 サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	3	3
6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	4	3

サブカテゴリ3 個別状況に応じた計画策定・記録

評価項目	標準項目の実施状況	
	標準項目数	うち実施項目数
6-3-1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	3	1
6-3-2 利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の介護計画を作成している	3	1
6-3-3 利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	2	1
6-3-4 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	2	1

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-4-1	認知症対応型共同生活介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている	3	3
6-4-2	利用者の状態に応じて、日常生活に必要なさまざまな作業等を利用者が主体的に行うことができるよう支援を行っている	4	4
6-4-3	利用者の健康を維持するための支援を行っている	4	3
6-4-4	共同生活が楽しく快適になるよう工夫している	3	3
6-4-5	事業所と家族等との交流・連携を図っている	4	2
6-4-6	利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携して支援を行っている	5	3

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-5-1	利用者のプライバシー保護を徹底している	3	3
6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	2	2

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	3	1
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	2	1

利用者保護に関する項目

評価項目		標準項目の実施状況	
		標準項目数	うち実施項目数
評価項目 1	利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	2	2
評価項目 2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	2	2
評価項目 3	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	5	3